

早いもので、2025年も残すところ、あと僅かとなりました。あっという間の一年間ですね。まさに光陰矢の如し。

今年は、皆さんにとってどのような年でしたか？新しい年を気持ちよく迎えるため、また、今年の総まとめをきちんとする為にも、心を落ち着けて生活できると良いですね。

読書には、集中力を高めるだけでなく、想像力や気持ちを鎮静させる力があります。新着図書も入りましたので、ぜひ活用してください。

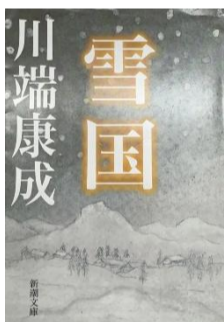
新着図書一覧 気になる一冊を、ぜひ見つけてください！

生きる言葉 依万智・〈自分らしさ〉って何だろう？ 榎本博明・生き物の生態図鑑 きのしたちひろ・ブラック ショーマンと名もなき町の殺人 東野圭吾・マスカレード・ライブ 東野圭吾・怖い間取り図4
松原ターン・本でした 又吉直樹 ヨシタケシンスケ・NO.6 再会 #1 あさのあつこ・NO.6 再会 #2 あさのあつこ・リストラテヴァンピーリ 二礼樹・コールドムーン 芥川なお・パズルと天気
伊坂幸太郎・あの夏の君を探して 汐見夏樹・蛭たちの折り 町田そのこ・いただきます。 喜多川泰・チョコレートピース 青山美智子・カラフル 阿部暁子・科学的に証明された すごい習慣大百科 人生が変わるテクニック 112 個集めました 堀田秀吾・あんぱん 下 後藤美奈・名探偵にさよならを 小西マサテル・冒険の書 孫泰蔵・名著入門 平田オリザ・生き物にとって死とはなにか 稲垣栄洋・高校生と考える新時代の争点 21 木下直之・増補改訂版 自然農という生き方 川口由一 辻 信一・下山の時代を生きる 平田オリザ・知性について 内田樹・生命と時間の間 福岡伸一・伝授 哲学の極意・本質から考えるとはどういうことか 苦野一徳・ビジネスで使える数学の基本が1冊でざっくりわかる本 グロービス・円周率πの世界 数学を進化させた「魅惑の数」のすべて 柳谷 晃・世界は「e」できている 金重明・英語の歴史から考える 英文法の「なぜ」 朝尾幸次郎・日本の淡水魚図鑑: 魚の生息環境と見分けるポイントがわかる 田口 哲・なぜ眠るのか 現代人のための最新睡眠学入門 ナショナル ジオグラフィック・ぼくどこからきたの ピーターメール・ぼちぼちいこか セイラーフロスアン・おこだでませんように くすのきしげのり・たまごのはなし しおたにまみこ・ココミル神戸 JTB パブリッシング 旅行ガイドブック 編集部・神戸・続神戸 西東 三鬼・神戸歴史散歩 海がつくった国際都市 加藤 隆久・ことりっふ 神戸 昭文社 旅行ガイドブック 編集部・ことりっふ 淡路島・鳴門昭文社 旅行ガイドブック 編集部・頭のいい人だけが解ける論理的思考問題 野村 裕之・岸辺露伴は叫ばない 短編小説集 荒木 飛呂彦・岸辺露伴は戯れない 短編小説集 荒木 飛呂彦・べらぼう~葛重栄華乃夢嘶~ 二森下 佳子・ザ・ロイヤルファミリー 早見和真・もの食う人びと 辺見 庸・ババヤガの夜 王谷 晶・さよならの言い方なんて知らない。 河野 裕・ヒポクラテスの誓い 中山七里・夜の道標 芦沢 央・口福のレシピ 原田ひ香・新装版 殺戮にいたる病 我孫子 武丸・火喰鳥を、喰う 原 浩・秒速5センチメートル the novel 新海誠 鈴木史子・神の子どもたちはみな踊る 村上春樹・恋に至る病 斜線堂有紀・記憶にありません。記憶力もありません。 土屋 賢二・8番出口 川村元気・「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか 三宅香帆・独断と偏見 二宮和也・小説8050 林真理子・一次元の挿し木 松下龍之介・小泉八雲とその妻セツ 青山誠・愛の、がっこう。上 井上由美子・愛の、がっこう。下 井上由美子

12月に読みたい！おすすめ本

川端康成 雪国

雪深い温泉街を舞台に、儂くも美しい男女の愛を描いた作品。繊細な筆致で描かれる雪景色、そして登場人物たちの心情は、読者の心を深く揺さぶります。ノーベル文学賞を受賞した川端康成の代表作であり、日本の美意識に触れることができます。



サン＝テグジュペリ 星の王子さま

子供の頃に読んだ方も多いのではないでしょうか。大人になって読み返すと、また違った感動が得られる作品です。大切なものを見失いがちな現代社会において、純粋な心と大切なものについて改めて考えさせられます。



ヴィクトール・フランクル 夜と霧

強制収容所での過酷な体験を通して、人生の意味を問う作品。困難な状況でも希望を失わないことの大切さを教えてくれます。新しい年を迎えるにあたり、自分の人生と向き合うきっかけを与えてくれる一冊です。



熊出没多発から考える 自然界の異変と恵みへの感謝

熊の出没が多発している主な理由は、個体数の増加、分布域の拡大、環境変化、そして人間の活動の変化に起因しています。私たちの湖北高校は、自然豊かな引佐町に位置し、近郊の山々には、様々な生き物が生息しています。自然は時として脅威ですが、その恩恵で人々の生活が成り立っていることも、また事実です。生態系バランスを維持させること、自然環境を守っていくことへ、改めて意識を向けるタイミングなのかもしれません。人、生き物、植物も、共存できる地域を考え、また、命の連鎖や恵みに感謝する心を、忘れずにいたいですね。



冬の詩歌

兄さまは掛取り
母さまはお飾り
わたしはお歳暮
町じゅうに人が急いで
町じゅうにお日があたって
町じゅうになにか光って

大晦日と元旦 金子みすゞ

うす水いろの空の上
鳶とんびは静かに輪を描かいてた
兄さまは紋付き
母さまもよそゆき
わたしももとの
町じゅうに人があそんで



町じゅうに松が立ってて
町じゅうに霰が散ってて
うす墨いろの空の上
鳶は大きく輪をかいてた

